

4年ぶりに敬老芸能大会を、9月17日（日）に釜利谷地区センターで開催し、地域の皆様が歌、



観世流能楽師 田邊哲久氏

舞踊、詩吟、

和太鼓などを披露され、敬老をお祝いしました。今回は、特別出演として、観世流能楽師（重要無形文化財総合指定保持者）田邊哲久氏による能楽と金沢中学校の弦楽部の合奏があり、充実した会となりました。観客の皆様からも「元気をもらった」とお声をいただきました。演者の皆様が、コロナ禍でも活動を



祭囃子 初舞台上でドキドキの子どもたち

続け、本大会に参加して下さったおかげだと思っています。久しぶりの開催のため、大会実行委員のほとんどが未経験者でしたが、協力し合い約500名の地域の皆様をお迎えすることができました。皆様のお元気な姿を拝見し「おめでとうございます」と声をおかけできたことなど、大変うれしく感じました。

釜利谷地区

第68回敬老芸能大会

釜利谷地区連合町内会会長 平野 龍雄 さん



初参加のフラメンコ舞

富岡西・能見台地区

楽しみながら健康づくり

富岡西・能見台地区保健活動推進委員会会長 森 圭子さん



最後に、参加者全員集合

誰でも参加して楽しめるスポーツ「ポッチャ」を、富岡西・能見台地区保健活動推進員と能見台地域ケアプラザが共催で、令和5年2月より毎月第2日曜日に開催しています。現在、20名近くの方々が会員登録されており、8月13日（日）には登録者13名に、横浜市立大学の学生ボランティアも参加しての3チーム編成で熱戦を繰り広げました。全員ゲームに熱中！接戦



審判も真剣

の場面も多く、ボールが投球される度に歓声が上がっていました。

参加者からは、「参加することで話し相手ができ。」「身体を動かしておしゃべりができ、毎月楽しみにしています。」との声。ポッチャは地域の皆さまの健康づくりに役立っています。今後も楽しい企画を提供して、健康の輪を広げていきたいと思ひます。

どうぞお気軽にご参加ください。



このスタンプがついている地域の活動は、第4期金沢ささえあいプラン地区別計画の中に記載されている事業です。詳細は、こちら➡



金沢区地域力通信

「地域と奏でるハーモニー」

バックナンバーは、こちら➡



ハーモニーでは、地域の方の色々な取組をご紹介させていただいています。支え合いのまちづくりを目指して、これから地域活動をされたい方のきっかけづくりの支援をします。ご相談等ございましたら、次の電話番号にご連絡ください。

制作・著作/金沢区役所 総務部 地域振興課 地域力推進担当 〒236-0021 横浜市金沢区泥亀二丁目9番1号
TEL : 045-788-7809 FAX : 045-788-1937 発行/令和5年10月（令和5年度第3号No.50）

金沢区地域力通信

令和5年度第3号



今の地域の取組を知り、これからの地域づくりを考える



金沢区幸せお届け大使 ぼたんちゃん

椿ヶ丘町内会

安否確認訓練～青旗を掲げて～

富岡第一地区 椿ヶ丘町内会会長 坂下 善隆 さん

無事です！



東日本大震災から12年。関東地方でも、いつ大きな地震が起きてもおかしくない状況です。

椿ヶ丘町内会では、発災時に迅速な

安否確認ができるよう、「青旗」を活用し、震度5強以上の地震発生を想定し訓練を実施しました。訓練は、防災副部長の山田 靖之さんを中心に町内会役員・区長・班長が連携して、954世帯を対象に実施しました。訓練開始の広報実施後、「無事です」と記載された「青旗」を玄関など視認しやすい場所に掲示するというもので、掲示のないお宅へは声かけをするなどし、最終的に760世帯（79.7%）の方に掲示していただきました。

この「青旗」は、金沢防災えんづくり補助金*を活用して購入し、全町内会員に配付したものです。訓練と実災害の違いをイメージすることや、訓練の継続が課題ですが、要援護者世帯の約半数が「声かけをしてほしい」と要望している中、「青旗」配付時にコミュニケーションをとることが、要援護者対策（声かけ等）のきっかけにもなり有意義な訓練となりました。

今後も「青旗」の存在を忘れないようにするため、また、町内会役員等の実動訓練も兼ねて、定期的な訓練の実施が必要だと感じています。

*金沢防災えんづくり補助金 ～まだまだ募集中です！～（12月22日（金）まで）

金沢区役所 総務課 庶務係 防災担当 045-788-7706

金沢区 えんづくり

検索

六浦地区

安全を守る「金沢八景公園 津波避難施設」

柳町町内会会長 富川 清 さん

金沢八景公園津波避難施設



令和4年度の訓練の様子


柳町は三方を水に囲まれ高台もないため、平成27年3月に海拔6メートルで300人もの方を収容できる津波避難施設が金沢八景公園に整備されました。当施設は、高齢者や子ども等が避難するための施設ですが、公園の中なので、日頃から子どもが施設で遊び、身近に感じています。津波避難訓練として、津波警報伝達システム放送後、施設に設置してあるベンチトイレの組立、消火訓練などを、9月9日（土）に行う予定でしたが、残念ながら雨天のため中止となりました。

また、9月11日（月）には大道小学校の4年生約50人が、防災授業として当施設を見学しました。児童は私の話をメモを取るなど熱心に聴き、施設の成り立ちや、日ごろから防災を考えることの重要性を認識してくれたと感じています。災害はいつ、どこで起こるかわかりませんので、避難場所は3か所程度考えておいてください。



富川会長の講話

第49回 金沢まつい花火大会を
地域の皆様のご協力により、8月26日(土)に
開催しました。ありがとうございました！



ぼたんちゃん花火も！

六浦東地区
4年ぶり
六浦東地区盆踊り大会
六浦東地区町内会連合会会長 岩崎 建一朗 さん



7月29日(土)、30日(日)の2日間、地域のふれあいの場として盆踊り大会を開催しました。連合町内会・地区社会福祉協議会・瀬ヶ崎小学校の3者が協力し、地域をあげた祭りとなりました。瀬ヶ崎小学校には、会場提供や、オープニングイベントとして「教職員の皆さんによるバンド演奏」と「6年生によるソーラン節」を披露してもらうなど、多大なご協力をいただきました。そして、盆踊り部がリードする踊りの輪は、高谷町内会の若い方々の太鼓演奏のもと次第に大きくなっていき、多くの小学生も加わり、全27曲、たいへんな盛り上がりを見せてくれました。また、バンド演奏とソーラン節のおかげで小学生と参加者との距離感が一気に縮まりました。演者と参加者双方に多くの小学生を巻き込んだことは今回一番の収穫です。



会場設営も工夫し、舞台を低く設置するなど、多くの子どもたちの参加と安全にも考慮しました。2日間で約350人もの方にご参加いただきましたが、これからも子どもも大人も一緒になって楽しめるイベントとして、若い力も取り入れて、思い出に残る盆踊り行事を行っていきたいと考えています。

能見台地区 ~子ども会の活動を考える~
「子ども交流会」
能見台地区主任児童委員 織田 みほ さん 糸乗 深雪 さん



7月22日(土)、能見台地区連合町内会では子ども会(6団体)の役員と地域の関係者が25名集まり、子ども会の活動報告後、運営上の課題についてディスカッションする「子ども交流会」を行いました。コロナ禍以降、イベントを再開していますが、「会員数の減少」「役員を選出が厳しい」「イベントの内容の再検討が必要」などの課題が議論されました。一方、「グランドゴルフを行い、高齢者と子どもが交流できるイベントとなっている」「自治会・町内会のイベント開催の目的の一つは子どもが参加し楽しんでもらうことなので、子ども会と協力して実施していけたらいいのではないか」「役員は女性が多いので、男性も参加してほしい」などの意見もありました。次回の交流会は2月に予定しています。能見台地区の子ども会では、自治会・町内会の協力のもと、いろいろな役員が運営に参加することにより、多世代の交流の場となっているイベントも多くあります。役員も楽しむこともモットーとしていますので、一緒にイベントに参加しませんか？



金沢中部地区 ~世代交流行事~
夏★遊びの屋台村
金沢中部地区世代交流部会 阿部 拓朗 さん

敷地内に広場、そんな魅力的なロケーションを持つハイテラス金沢文庫で、7月23日(日)、夏休みスタートイベント「夏★遊びの屋台村」を開催しました！「昔遊びの

継承」のため紙ヒコーキを作って飛ばすイベントとして始まり、次第に子どもたちに複数の遊びを楽しんでもらうイベントとなり、昨年からは「屋台村」として開催しています。クイズゲーム、水鉄砲、スーパーボールすくい、オリジナルエコバック作りに、ヨーヨーとお菓子のお土産付と盛りだくさんの内容で総勢約80名の子どもたちは楽しむことに大忙し！大勢の子どもたちの笑顔を見ることができました。イベント終了後は、子どもだけでなく、大人同士も広場で交流することができました。また、子どもたちは、同日開催の城山自治会のお祭りにも参加してくれるなど、流れができたことも良かったと思っています。課題は、周知・認知度。もっとたくさん子どもたちに楽しんでもらうには、町内会と関わりの少ない方や回覧板を見ない方をどう巻き込んでいくかがポイントだと考えています。また、青少年指導員は、「子どもたちを想って楽しいことを考え、活動している」ことをアピールして、活動に興味を持って行事に参加してもらいたいと思っています。「参加し楽しむ⇒人と関わる⇒人がつながっている地区になる⇒災害に強い地区になる」と考えています。



金沢シーサイドタウン地区 夏だ！花火だ！
サマーフェスタ 2023
サマーフェスタ実行委員会会長 増田 一行 さん

昨年は、新型コロナの影響で規模を縮小して秋に花火大会を行いました。今年は4年ぶりに7月29日(土)、30日(日)の2日間、コロナ禍以前と同様、ふなだまりにメインステージを構え、夜店も立ち並ぶサマーフェスタを開催しました。この祭りで特に大切にしているのは、地域の小学校のソーラン節や中学校・高校の部活動、地域で活動するグループの発表する場を用意して、思い出作りをしてもらうこと。楽しい思い出が地域への愛着となり、大人になってもフェスタに合わせて帰省したり、懐かしい友人と集まったり、多くの方に参加していただいている秘訣だと思っています。フィナーレの大きな花火も自慢のひとつです。カウントダウンで花火が上がると「こんなに近くで大きな花火を見るの初めて！」など、その迫力に大きな歓声や拍手が起こり、盛り上がりました。警備をお願いしている町内会の方、お店を出してくださる団体の方など様々な皆さまにご協力いただき、無事に開催できたことに感謝します。これからも、暑い夏の楽しいひと時、サマーフェスタを続けていきたいと思っています。

